



**ネットワーク・セキュリティ**  
 業界をリードするチェック・ポイントの  
 セキュリティ・ソリューションは、  
 ネットワーク環境を常に安全に保ちます。

## VPN-1 Power Multi-core

ミッション・クリティカルな環境向けにマルチ・ギガビットの  
 アプリケーション・セキュリティを提供

### 課題

従来のITセキュリティは、なりすましやポート・スキャンといった静的なネットワーク層での攻撃を阻止することに主眼が置かれていました。そして、この種の攻撃に対する防御策のパフォーマンスを向上させるため、特定の機能を高速実行できるようにするASIC (Application-Specific Integrated Circuit) などいくつかの手法が用いられてきました。しかし今日、動的な脅威が激増し、その特徴が曖昧になるに従い、このような従来型のセキュリティ・アクセラレーション技術は有効性を失いつつあります。十分なレベルのアプリケーション層セキュリティを確保するというは、ネットワーク・セキュリティ・パフォーマンスを低いレベルに低下させることを意味します。そのため多くのネットワーク環境では、セキュリティを高める代わりに、リスクが増大するのを甘受してファイアウォールに内蔵された侵入防御機能をオフにするという決断を下すようになっているのです。セキュリティとパフォーマンスのどちらを選択するかというトレードオフ問題に直面している今日の多くの企業は、その妥協点を見出すための努力を強いられています。

### 解決策

VPN-1® Power™ Multi-coreセキュリティ・ゲートウェイは、セキュリティとパフォーマンスのトレードオフに関するこれまでの概念を一変させ、マルチ・ギガビットのスループットを実現する統合アプリケーション・セキュリティを提供します。VPN-1 Powerと同じ統合型のファイアウォール、VPN、および侵入防御の機能を搭載するVPN-1 Power Multi-coreは、サーバおよびクライアントで利用可能な最新のマルチコア技術をベースに開発されており、チェック・ポイントの侵入防御技術であるSmartDefense™を高速化します。チェック・ポイントが提供するこの新しい技術によって、ネットワークが必要とするパフォーマンス・レベルを維持しながら必要な保護機能を有効にし、企業全体のセキュリティを向上させることが可能になります。

### セキュリティとパフォーマンスの両方を強化

VPN-1 Power Multi-coreは、最新のプロセッサ技術を活用するため、マルチコア・ロード・バランシング技術であるCoreXL™を搭載しています。チェック・ポイントが特許を出願中のCoreXLは、マルチコア・システムでセキュリティ・トラフィックを効率よく処理するために、トラフィックの処理を各コアに分散させます。これにより、アプリケーション・セキュリティの大幅なパフォーマンス向上を実現しています。

### 製品の概要

VPN-1® Power™ Multi-coreは、ファイアウォール、VPN、および侵入防御の機能とアクセラレーション技術を組み合わせることにより、マルチ・ギガビット・レベルのアプリケーション層セキュリティを実現する統合セキュリティ・ゲートウェイです。

### 製品の特徴

- ファイアウォール、VPN、および侵入防御の機能に、アクセラレーション技術を統合
- マルチ・ギガビットのスループットで動作する侵入防御技術SmartDefense™とWebアプリケーション・ファイアウォールWeb Intelligence™を搭載
- 毎秒あたりに処理可能なパケット数および接続数の増加

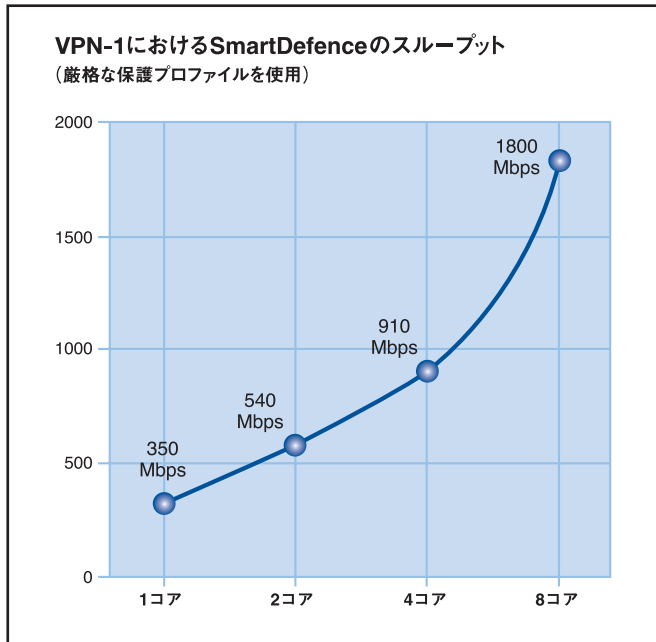
### 製品の利点

- 高いレベルのアプリケーション・セキュリティとパフォーマンスを両立
- 新しいタイプの脅威が出現しても一定レベルのパフォーマンスを維持可能
- マルチメディア・アプリケーションやトランザクション指向アプリケーションのパフォーマンスを向上



NGXプラットフォームによりチェック・ポイントの統一されたセキュリティ・アーキテクチャを実現します。

例えば、デュアルコア・プロセッサを1基搭載した汎用サーバでVPN-1 Power Multi-coreを動作させた場合、厳格な保護プロファイル (SmartDefenseおよびWeb Intelligenceの設定の約7割を有効化) を適用したSmartDefenseのパフォーマンスは、540 Mbpsにまで向上します。これは、同一サーバ上でCoreXLを使用しない場合と比較して、45パーセント以上のパフォーマンス向上です。また、クアッドコア・プロセッサを2基搭載するサーバの場合、スループットは、同じ保護プロファイルで1.8 Gbps 以上にもなります。



このレベルのパフォーマンスが実現されることにより、企業では、ASICベースのソリューションよりも格段に高いレベルのセキュリティで機密データや公開データを保護できるようになります。またVPN-1 Power Multi-coreは、新しいタイプの脅威が出現した場合でも、パフォーマンスを一定レベルに保つことが可能です。ハードコードされたチップで検査およびアクセラレーションを実行するASICベースのシステムとは異なり、VPN-1 Power Multi-coreは、動的な脅威に対処できるよう直ちにプログラミングし直すことのできる強力な汎用プロセッサ上で動作します。このため、脅威の傾向に変化が生じて、VPN-1 Power Multi-coreは引き続き最大限のパフォーマンスを発揮することができます。

## ミッション・クリティカルな環境向けの機能強化

VPN-1 Power Multi-coreは、ネットワーク・トラフィックについても、ミッション・クリティカルなネットワークで求められる次のパフォーマンス向上を実現しています。

**毎秒あたりに処理可能なパケット数の強化:** VoIP (Voice over Internet Protocol) など、低遅延が要求されるマルチメディア・アプリケーションの普及に伴い、ネットワークを流れるパケットの数は大幅に増加しています。VPN-1 Power Multi-coreでは、パケットの検査速度を33パーセント向上させることでこの問題に対処しています。このため、遅延なしで安全にマルチメディア・アプリケーションを利用することが可能です。

**毎秒あたりの接続数の強化:** 今日の企業サイトは、顧客やビジネス・パートナーなど、ますます多くのユーザやネットワークと相互接続されるようになっています。例えば、銀行は口座情報へ簡単にアクセスするための手段を顧客に提供し、販売店はサプライ・チェーン管理のために流通センターに接続され、データセンターはグローバル企業における情報センターとして機能しています。ネットワーク・セキュリティの観点からすると、これは、毎秒あたりに確立する必要のあるトランザクション数が大幅に増加したということを意味します。VPN-1 Power Multi-coreでは、必要なセキュリティを実施しうえて確立可能な毎秒あたりの接続数が最大50パーセント増加しています。このため企業では、必要に応じて確実にトランザクションを処理することができます。

## UTM版も提供

単一の統合セキュリティ・アプリケーションのシンプルさを必要とする企業向けとして、VPN-1 Power Multi-coreのアクセラレーション技術と、VPN-1 UTM Powerの統一セキュリティ・アーキテクチャの両方を搭載するVPN-1 UTM Power Multi-coreも用意されています。VPN-1 UTM Power Multi-coreは、ミッション・クリティカルな環境のパフォーマンス向上とセキュリティ環境の簡素化を同時に実現するプラットフォームを提供します。

### 製品に関するお問い合わせ

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル6F <http://www.checkpoint.co.jp/> E-mail: [info\\_jp@checkpoint.com](mailto:info_jp@checkpoint.com) Tel: 03 (5367) 2500

©2003-2007 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.

Check Point, AlertAdvisor, Application Intelligence, Check Point Express, Check Point Express CI, Check Pointのロゴ, AlertAdvisor, ClusterXL, Confidence Indexing, ConnectControl, Connectra, Connectra Accelerator Card, Cooperative Enforcement, Cooperative Security Alliance, CoreXL, CoSa, DefenseNet, Dynamic Shielding Architecture, Eventia, Eventia Analyzer, Eventia Reporter, Eventia Suite, Firewall-1, Firewall-1 GX, Firewall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, Hybrid Detection Engine, IMsecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, Integrity Clientless Security, Integrity SecureClient, InterSpect, IPS-1, IQ Engine, MailSafe, NG, NGX, Open Security Extension, OPSEC, OSFirewall, Pointsec, Pointsec Mobile, Pointsec PC, Pointsec Protectorm, Policy Lifecycle Management, Provider-1, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureClient Mobile, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecurePlatform Pro, SecureRemote, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SecureXL Turbocard, Sentivist, SiteManager-1, SmartCenter, SmartCenter Express, SmartCenter Power, SmartCenter Pro, SmartCenter UTM, SmartConsole, SmartDashboard, SmartDefense, SmartDefense Advisor, Smarter Security, SmartLSM, SmartMap, SmartPortal, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, TrueVector, Turbocard, UAM, UserAuthority, User-to-Address Mapping, UTM-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Express, VPN-1 Express CI, VPN-1 Power, VPN-1 Power VSX, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecureRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 UTM, VPN-1 UTM Edge, VPN-1 VSX, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Anti-Spyware, ZoneAlarm Antivirus, ZoneAlarm Internet Security Suite, ZoneAlarm Pro, ZoneAlarm Secure Wireless Router, Zone Labs, Zone Labsのロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. あるいはその関連会社の商標または登録商標です。ZoneAlarm is a Check Point Software Technologies, Inc. Company. その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書で記載された製品は米国の特許 No.5,606,668, 5,835,726, 5,987,611, 6,496,935, 6,873,988, 6,850,943, および7,165,076により保護されています。その他の米国外における特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。

P/N 502692-J 2007.12 ※記載された製品仕様は予告無く変更される場合があります。



**Check Point**  
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.